

あったかふれあいセンター

～地域福祉政策課ホームページ掲載情報～
【平成28年4月1日現在】

センターの名称		南国市あったかふれあいセンター ひいとい	
実施場所	拠点	南国市日吉町2丁目3番28号（南国市社会福祉センター）	
	サテライト	【ひいとい西】十市多世代交流プラザ(南国市十市2315番地1) 【明見サロン】明見公民館(南国市明見427番地1)	
実施日時	拠点	月曜日～金曜日 8:30～17:15	
	サテライト	【ひいとい西】週1回 木曜日10:00～15:00 【明見サロン】2カ月に1回(不定期)	
対象者		南国市民	
実施内容 (週や日のスケジュール等を記載)		高齢者の引きこもり防止や介護予防、そして障がいの有無に関わらず世代を超えた交流を図れる居場所作りを実施しています。また、個々の必要性に応じた個別の支援にも対応し、より地域住民とつながり、つなげられるような関係作りのための交流会や勉強会も運営しています。	
実施機能の具体的内容	集い	○	誰でもいつでも自由に過ごせる居場所の提供を実施します。
	預かる	○	対応ができる場合は、児童から高齢者の一時預かりも実施します。
	働く	○	就労体験として、畑をお借りして、農家のサポートをいただきながら野菜作りをしています。
	送る	○	サテライトでは、サロンへ自力で参加できない利用者を送迎します。
	交わる	○	地域住民・近隣保育園・小学校及び地域活動支援センターとの交流を図ります。
	学ぶ	○	健康・介護予防・日常生活等のミニ講座・研修を実施します。
	訪問	○	サロンを休んだ利用者以外にも、他の関係部署との連携、または利用者からの情報提供等により把握した支援が必要と思われる方を訪問し、生活課題等の相談を受け、必要に応じて他のサービス及び関係機関へつなぎ、連携して支援を行っていきます。3ヶ月に1度、保健師による健康相談の日も設けています。
	相談	○	
	つなぎ	○	
	生活支援	○	買い物のお手伝い、ゴミ出しの準備など、ちょっとした生活支援をします。また、可能な限り地域につなげて地域での支え合いの仕組みづくりをしています。
	移手段の確保	—	
	配食	—	
泊り	—		
利用料金・利用条件等		昼食は自己負担。地域勉強会「よっし！」では材料費の自己負担が必要な場合あり。	
PR	<p>色々な人が集まる中、時にはみんなで大笑いしながら過ごせる空間となっています。また、お互いに助けあえる関係づくりを目指した運営をしています。ひいといサロンの日を一週間の軸にして、健康管理を行うとのお声もあります。</p> <p>保育園との交流や、食生活改善推進員・地域企業等との連携で実施されている地域勉強会「よっし！」をはじめ、地域住民とのつながりを大切にしています。</p> <p>「安心つながる絶えないかたち」(あんしん つながる たえない かたち)をキャッチフレーズに、地域の身近な存在を目指します。</p> <p>(フェイスブック https://www.facebook.com/社会福祉法人-南国市社会福祉協議会-1011255028908247/?hc_ref=PAGES_TIMELINE)</p>		
連絡先	事業所	社会福祉法人 南国市社会福祉協議会	
	住所	南国市日吉町2丁目3番28号	
	電話	088-863-4444	FAX 088-863-4445
	E-mail	nfukusi@nanshakyo.or.jp	
写真			
上記について、 市町村問い合わせ先	担当課室	南国市福祉事務所	
	電話	088-880-6566	FAX 088-863-1167
	E-mail	n-fukusi@city.nankoku.lg.jp	